

## 審査結果報告書

令和4年1月14日

主査 氏名

隈元 雄介



副査 氏名

天野 英樹



副査 氏名

村雲 芳樹



副査 氏名

田邊 聡



1. 申請者氏名 : 松本 高明

2. 論文テーマ : Nafamostat Mesylate is Not Effective in Preventing Post-Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography Pancreatitis  
(ナファモスタットメシル酸塩は内視鏡的逆行性膵胆管造影後膵炎の予防に有効ではない)

3. 論文審査結果 :

膵胆道疾患の診断・治療における ERCP (逆行性膵胆管造影検査) の有用性は、年々小さくなっているが、時に致死的となる合併症の一つである ERCP 後膵炎の予防は、臨床において大きな課題となっている。本論文では、急性膵炎の治療に用いられるプロテアーゼインヒビターの一つである Nafamostat Mesylate の ERCP 後膵炎に対する予防効果を、初めて多施設共同前向き試験で検討した論文であり、新規性に富む試験であった。研究の遂行の努力は大きく、途中ガイドラインが変更される中、予定症例には到達できなかったものの 441 例の症例集積とデータ解析の業績は大変素晴らしいもので、その臨床的意義は大きいと考える。質疑応答では、無作為割り付けの手法、評価項目の適正、この結果を踏まえた将来展望などの質問に対し、的確な返答を行っており、学位授与に相応しい研究業績であると委員全員が認定した。

以上。